

本校の価値を見つめ直し、未来へつなぐ一年に

校長 相川 保 敏

春の訪れとともに、新たな年度を迎えました。お子様のご入学・ご進級、誠におめでとうございます。昨日の入学式では、新1年生62名を新6年生と教職員でお迎えいたしました。愛らしい1年生が、6年後にどのように成長していくのか、大きな期待と喜びをもって見守っていきたく存じます。

さて、少子化の進行に伴う入学者数の減少は全国的な課題であり、本校においてもその影響を強く感じております。こうした状況に的確に対応していくためには、学校の在り方を改めて見つめ直し、本校ならではの教育的価値を明確にし、広く発信していくことが求められます。本校の最大の特色は、女子小学校である点にあります。関東・関西には複数校が存在しますが、中部地区においては唯一の存在です。

では、女子のみの小学校という点は、入学を検討される方々にどのように受け止められているのでしょうか。最も身近な附属幼稚園・附属こども園に在園されている保護者の方々にアンケートを実施したところ、半数以上の方が不安要素の一つとして挙げておられました。一方で、3月に卒業した前6年生の保護者の方々にも、「女子のみの小学校で学ばせたことについて、全体としてどのように感じているか」という調査を行いました。その結果、「とてもよかった」「よかった」との回答が95%、「どちらでもない」が5%、「あまりよくなかった」「よくなかった」は0%という結果となりました。さらに、回答者の約4分の1は、入学前に不安を感じていたと答えており、実際に通わせる中でその不安が払拭され、本校の良さを実感されたことがうかがえます。

本校の魅力を最も端的に示すものは、日々の学校生活の中でいきいきと学び、互いに関わり合いながら成長していく子どもたちの姿にほかなりません。授業や行事、日常の様子を積極的に公開し、実際の姿をご覧いただく機会を充実させることこそが、何よりも説得力

のある広報であると考えております。また、在校生保護者の皆様による口コミも、大きな力となります。子どもたちの成長や学校生活の充実を実感されたお声は、これから本校を検討されるご家庭にとって、何より信頼性の高い情報となります。本校としても、保護者の皆様と連携しながら、教育活動の充実と情報発信の双方に努めてまいります。

現在、文部科学省において学習指導要領の改訂作業が進められており、令和8年度中に改訂が完了し、令和12年度から全面实施される予定です。本校ではこれを見据え、令和12年度を待つことなく、令和8年度より教育活動全体の見直しに着手いたします。具体的には、運動会や学習発表会の実施時期の変更を含む年間行事計画の再構築、40分授業の導入や柔軟な教科指導時間の運用、さらに子どもたちの「生きる力」を育むことを主眼としたプロジェクト学習の充実と、各教科の学びを有機的に結び付けるカリキュラム・マネジメントの推進に取り組んでまいります。

子どもたち一人ひとりが、校訓にあるように「強く」困難に立ち向かい、「明るく」人と関わり、「美しく」心を磨いていく——その姿こそが本校の最大の価値であり、未来への希望であります。本年度も教職員一同、力を合わせ、よりよい教育の実現に邁進してまいります。保護者の皆様におかれましては、本年度も本校の教育活動に対し、変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



メタセコイアの木が4月2日に剪定されて、大きく姿を変えました。何となく寂しく感じられますが、新しい芽がすでに芽吹いています。新緑の季節を楽しみにしていきたいと思います。